

令和2年度

福島県立病院年報

福島県病院局

凡 例

1. この年報で県立病院・診療所とは、福島県立病院事業の設置等に関する条例(昭和41年条例第77号)により設置された病院・診療所をいう。
2. この年報の年度は、会計年度である。
3. 病床数とは、医療法の規定に基づき、知事の使用許可を受けた病床数である。延病床数とは、年度内における毎日の病床数を合計した数である。
4. 入院患者延数とは、年度内における毎日の在院患者を合計した数である。ただし、人間ドックは含めない。
5. 外来患者延数とは、年度内における毎日の外来患者を合計した数である。ただし、健康診断は含めない。
6. 1日平均患者数とは、入院患者については年度内の入院患者延数を暦日(令和2年度は365日)で除した数、外来患者については、年度内の外来患者延数を年間の実外来診療日数で除した数である。
実外来診療日数とは、土・日曜日及びその他休日を除き実際に外来診療を行った日数で令和2年度は243日である。
7. 入院、外来患者の病類区分は、一般疾病、結核、感染症及び精神病である。
8. 病床利用率、平均在院日数等は次の算出方法により計算した。

$$\text{病 床 利 用 率} = \frac{\text{入院延患者数}}{\text{延 病 床 数}} \times 100$$

$$\text{平 均 通 院 日 数} = \frac{\text{外来患者延数}}{\text{外来新患者数}}$$

$$\text{1人1日当たり診療収入} = \frac{\text{診療稼働額}}{\text{延 患 者 数}}$$

$$\text{平 均 在 院 日 数} = \frac{\text{入院患者延数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})}$$

$$\text{病 床 回 転 数} = \frac{365}{\text{平均在院日数}} \quad \text{又は} \quad \frac{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})}{\text{病床数} \times \text{病床利用率}}$$

9. 診療科別患者数は、病院において標榜している診療科で診療を受けた患者の数である。
10. 数値は、各単位止まりのものは少数第1位、1位止まりのものは少数第2位、2位止まりのものは少数第3位で四捨五入したものである。

表章記号は次のとおりである。

計数なし又はあり得ない場合 —

計数不明の場合 …

数値が微少の場合 0.0

11. 以上のほか注記を必要と思われるものは、それぞれの箇所に記載した。

目 次

第1章 県立病院の概況

1 県立病院の所在地	5
2 県立病院事業概況	6
3 県立病院の機構	7
4 県立病院現況	8
5 施設の概要	9
6 県立病院の沿革	10
7 病院別職種別現員表	14

第2章 統計解説

1 患者の状況	16
(1) 入院患者数	16
(2) 診療科別入院患者数	16
(3) 病床利用率	18
(4) 外来患者数	23
(5) 病院別外来患者数	23
(6) 診療科別外来患者数	24
2 診療状況	25
(1) 診療収益	25
(2) 診療科別稼動額	26
(3) 診療行為別稼動額及び診療行為別1人1日当たり診療収入	27
(4) 診療科別患者1人1日当たり診療収入	29
3 X線使用状況	30
4 検査状況	31
5 手術状況	32

6	調剤業務状況	33
7	人工腎臓装置利用状況	33
8	経理の状況	34
	(1) 損益計算書	34
	(2) 貸借対照表	35
	(3) 経営状況の推移	36
	(4) 企業債の状況	39
9	主要医療器械設置状況	40
第3章 診療統計		
第1表	月別診療科別入院外来患者数	41
第2表	病類別患者延数・病床利用率・回転数・平均在院日数	45
第3表	診療科別診療行為別稼働実績(入院)	46
第4表	診療科別診療行為別稼働実績(外来)	47
第5表	月別診療稼働額(入院)	49
第6表	月別診療稼働額(外来)	49
第7表	診療科別患者1人1日当たり診療収入	50
第8表	X線使用状況	51
第9表	検査状況	52
第10表	調剤状況	53
第4章 経理統計		
第1表	病院別損益計算書	54
第2表	収益及び要素別費用	55
第3表	費用構成表	57
第4表	医業収益(100)対要素別医業費用	58
第5表	年度末病院別貸借対照表及び財務分析	59
第6表	前年度比較損益計算書	60
第7表	前年度比較貸借対照表	61
第8表	不納欠損処理一覧表	62
第9表	企業債状況	63
第10表	一般会計繰入金の状況	65